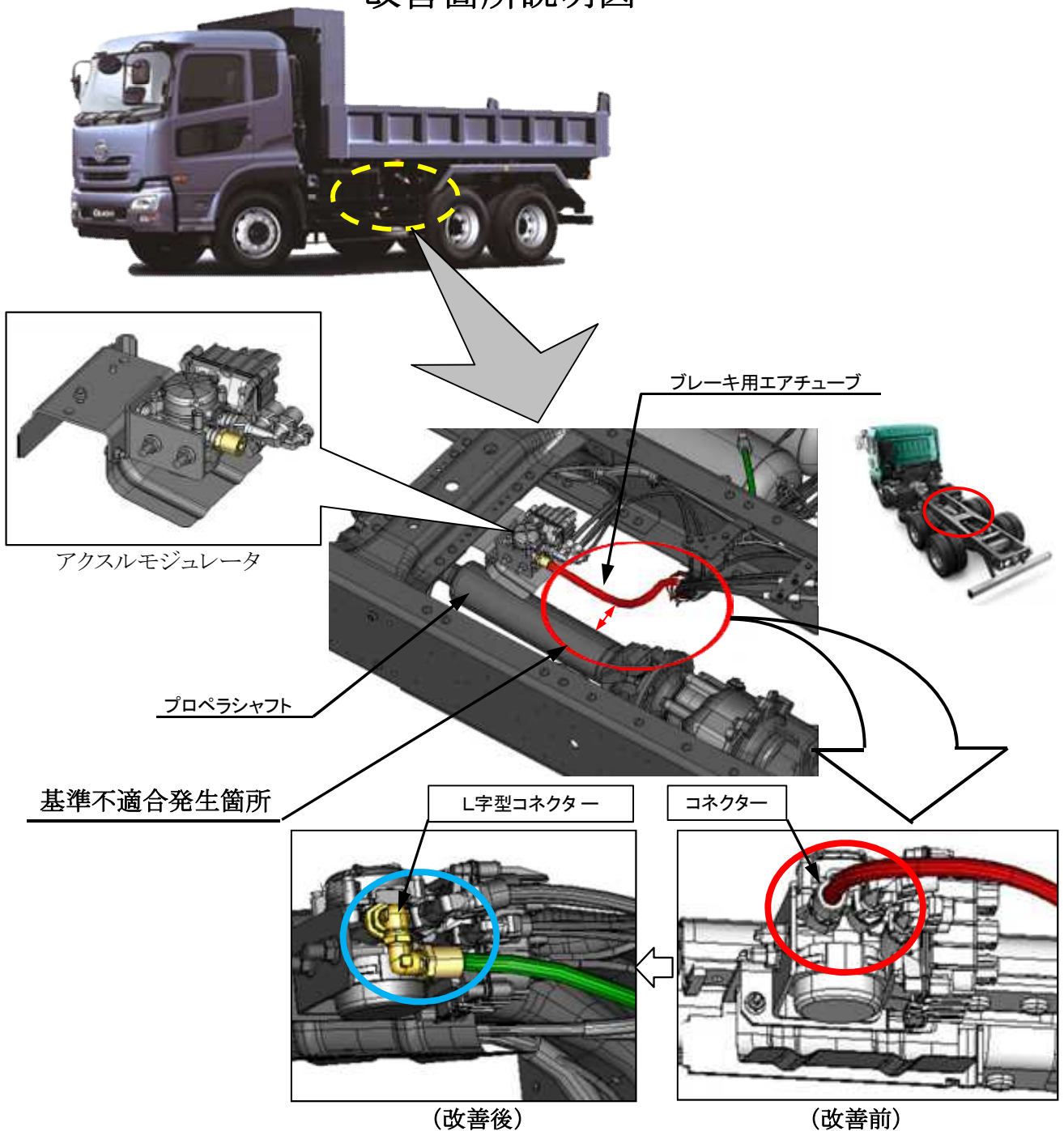


改善箇所説明図



制動装置において、ブレーキ用エアチューブの配策が不適切なため、起伏の大きい悪路を走行した際に、当該チューブがプロペラシャフトと接触することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該チューブが損傷してエア漏れによるブレーキ警告灯が点灯し、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ブレーキ用エアチューブの接続コネクターを対策品(L字型)に交換し、当該チューブの配策を変えるとともに、当該チューブが損傷している場合は、良品に交換する。

注： 内は交換部品を示す。

識別： 対策品の交換終了は、コネクターの形状で識別する。